

ロータリーに輝きを

Light up Rotary

平成26年11月19日 第2,307回 No. 2,079

会長：横田 一尊 ・ 幹事：山田 康裕 ・ 会員サービス委員長：宮澤 与一

E-mail : neast-rc@valley.ne.jp

URL : <http://www.valley.ne.jp/~neast-rc/>

《ロータリーソング》

- それでこそロータリー

《ゲスト紹介》

- 米山記念奨学生
リチ・クルニア・アリフさん

《会長報告》

- 北島副会長

日曜日（16日）には長野市も最低気温が氷点下（-0.6度）になり、本格的な冬をむかえる季節となりましたが、旧暦では、実はまだ9月です。今週土曜日が旧暦10月1日です。

皆さんはすでに炬燵を出されましたでしょうか？ マンション住まいの方では炬燵がないという家庭も多いかもしれません。歴史をさかのぼると、江戸時代は炬燵を出す日が旧暦10月、最初の亥（い）の日と決まっていたようです。亥「十二支」の12番目ですね。漢字っていうと戸惑う字ですね。こんな字です。古代中国から「水」に関係している干支です。今年の初亥の日は旧暦では来週月曜日24日です。炬燵を出すタイミングとして長野県からすると遅い気もしますが、東京ならば11月末というのは、私の東京支社勤務の経験からも、これくらいかなという気がいたします。地球温暖化と言われてはいますが、日本人の寒さを感じる感覚、暖房が必要だという感覚は何百年経っても意外に変わらないものかもしれません。

ところで、なぜ亥の日か？ 江戸時代は火事が多かったですから、「水」と関係する旧暦10月「亥の月」の最初の「亥の日」に炬燵を出すことで、その年は火事にならないと江戸時代の人々の願いもあったのでしよう。

ところで、この時期のポカポカと暖かい

日を「小春日和」と言います。これは旧暦の10月を小春とすることから、使われるのですが、若い記者などは、春先の暖かい日のニュース原稿に平気で書いてきたりするのです。「2月が小春なら4月は何だ？」と聞くと、おおまじめに大春なんていうそうです。「だって、小雪と大雪、小寒と大寒って言うじゃないですか」って。

小春日和のあとには、いよいよ雪がやってきます。我々がこの時期ニュースで気を付けるのは、上空1500メートルの気温です。これが0度になると、そこそこの高原でも雪になります。これが氷点下6度になると、平地でも雪になる可能性があるため、翌日の朝取材の準備をします。いよいよスキーの季節になると、スキー場賑わうというようなニュースで、新人の記者などは「色とりどりのウェアで、思い思いのシュプールを描いていました」という原稿を書いてきます。教えるわけではないんですが、どこかで聞いて印象に残っているのでしょうか。しかしこれもデスクにばっさりやられます。「色とりどり」じゃなかったら、みんな同じ色を着てるのか？ 自衛隊の訓練じゃあるまいし。「思い思いのシュプール？」

思い通りに滑れないから、スキー場に行くんだろ？ 思い通りにならないシュプールを描くのが、スキーってもんだろ。と言われる訳ですね。つい使いやすい言葉はあるもので、火事では「折からの強風にあおられ」政治では「成り行きが注目されます」という言葉を使わずに、自分の言葉で書け！ということになるのですが、同じように、つい間違っって使ってしまう言葉はあるものです。アナウンサーや記者の誤読は流行があるようで、最近のビッグ3はこれです。

(TBS 調べ)

「容体」…これはヨウタイ、濁るんですね。ヨウタイと読んででは間違いです。

「一段落」…これはイチダンラク、一休みや一息との混同でヒトダンラクと誤読する人が増えています。

最後に「他人事」…これはヒトゴト、タニゴトと読むのは、他人+ごとと送ってあるときだけです。

今年もあと1か月と少し いよいよ忙しくなり イチダンラクまでにはもうヒトガンバリです。2014年ラストスパート皆様のご健康をご祈念申し上げます。

《出席報告》

本日	出席	欠席	出席率
会員数 65名	27名	38名	41.53%
前々回	11月5日	訂正出席率	72.22%

《ニコニコボックス》

早退：立岩 久忠君、今井 用一君
 欠席当日連絡：鈴木 明治君、加藤 秀俊君
 遅刻：和田 晶宜君 (11月12日分)

- ZENの第6回チャリティーコンサートも、いよいよ29日まで10日ほどとなりました。昨夜は舞台上で総練習を行いました。チケットはまだまだ売れるほどありますので、皆様お誘いの上ご来場ください。ホクト大ホールでお待ちしております。 佐藤 忠幸君

《本日のプログラム》

- ゲスト卓話
米山記念奨学生
リチ・クルニア・アリフさん
「信州大学での研究」

私は高校卒業し、勉強のためにインドネシアから出て日本まで渡りました。なぜそこまでしたかという、私は理系を勉強したくて世界的に最先端の技術で有名な日本への留学を決意しました。日本に在住し6年以上経ちました。現在では、信州大学大学院理工学系研究科物質工学専攻に所属し、大学院の研究生活をおくっています。この度は、私が大学4年生から始めた研究について話させていただきます。

私の研究はリチウムイオン電池の容量向上のために、リチウムイオン電池の負極活物質に用いられる新しい材料の開発をしています。近年では、次世代リチウムイオン電池負極の活物質としてシリコンとスズが注目されています。私の研究ではスズよりも高い理論容量を持つシリコンに着目しています。シリコンは半導体であるので、電気が流せない性質を持ち電池の活物質とし

て用いるためには導電性を与える必要があります。本研究では、メッキ技術を用いて金属をシリコン表面上につけ、導電性シリコンナノ粒子を創製しています。

また、この度は大学のプロジェクトである「先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業」について話させていただきます。このプロジェクトは文部科学省の事業であり、全国には数箇所の大学にあるプロジェクトです。この事業では、大学にある最先端の分析機器・評価装置を外部にオープンしようという事業です。なので、現在信州大学にある装置がこの事業を通じて、一般企業でも利用することが可能です。電解放射型走査電子顕微鏡(FE-SEM)、高分解能透過型電子顕微鏡(TEM)、走査性X線電子分光分析装置(ESCA)などの最先端機器が利用できます。

それに、このプロジェクトに専属する研究者もいますので、技術的な相談や評価の委託もできます。是非興味ある方は信州大学まで問い合わせしていただければと思います。



《11月26日のプログラム》

- 会員卓話
山川 浩之君

《11月26日のメニュー》

- 洋コース
 - ・軽く昆布めしたヒラメのカルパッチョ
 - ・豚バラとアングスのホワイトシチュー
 - ・ミルフィーユ 赤い実ソース
 - ・パン
 - ・コーヒー

＝次週予告＝

《12月3日のプログラム》

- クラブアッセンブリー
- クラブフォーラム

《12月3日のメニュー》

- 和定食
 - ・鮭バター焼きとカキフライ 特製タルタル
 - ・風呂炊きカブラ 柚子みそ
 - ・しめじご飯 ・味噌汁 ・漬物
 - ・果物